

日本科学者会議第 16 回総合学術研究集会

「公共事業のあり方を考える」分科会へのお誘い

- ・ 日本のいたるところで進んでいる「公共事業」の名による大規模な自然破壊や住環境の破壊と、税金のムダ遣い。
- ・ 川辺川ダム、有明海諫早湾干拓、東京湾三番瀬の干潟破壊、八ツ場ダム、高尾山にトンネルを掘る圏央道建設の 5 つの大規模公共事業にかかわっている市民運動団体や訴訟原告団・弁護団を担っている方々が一堂に会し、おおいに語りあいます。
- ・ 私たちの未来を見通し、公共事業のあり方と今後の運動の展望を考えませんか。この機会を逃さず、ぜひお誘いあわせておいでください。

パネル討論の前に「住民参加と住民合意の実像(宮城)」「沖縄県における大規模公共事業の問題点」「道路政策と道路行政の国民的変革をめざして」の 3 本の報告と討論もあります。

- ・ 12 月 2 日(土) 午後 1 時半から・報告と討論
午後 2 時 45 分から・パネル討論

- ・ 一橋大学・東キャンパス 1 号館 2F・1202 教室(国立駅南口から徒歩 5 分)

討論のコーディネーターは高尾山の自然をまもる市民の会の橋本良仁です。応援、よろしく！
連絡先電話・042-662-8115 e-mail cap-mt.takao@nifty.com